



11月の園だより



令和4年11月1日
目黒区立鷹番保育園園長



先月の運動会は皆様のご協力のもと、3年ぶりの学校開催ということで多くの方にご参加いただき、他クラスの演目も見てもらうことができました。『日ごろの遊びで培った力を、運動遊びを通してもらおう』という運動会のねらい、『友達と一緒に運動会を楽しみ自分の力を発揮する』という4歳児のねらい、『積み重ねてきた成果を、自信を持って発揮する。皆で力を合わせて競技に取り組む』という5歳児のねらい全てにおいて、達成できたのではないかと思います。ご不便をおかけすることもありましたが、ご理解とご協力に感謝申し上げます。なによりも子どもたちの楽しそうな笑顔が印象的でした。翌月曜日には4歳児が短縄を始めていました。運動会で5歳児の姿を見て「やってみたい」「できるようになりたい」と思ったのでしょう。子どもたちの意欲があふれていました。1,2歳児も練習の姿をたくさん見ているうちに、4歳児の真似をしてフープを持って踊ってみたり、大縄を跳ぼうとしたりと刺激を受けているようでした。特別に教えたりしなくても、年上の子にあこがれて真似をするうちにできるようになっていくのは、保育園の良さでもあります。年上の子は年下の子をさりげなく受け入れ、やさしく接しています。相手を大切に思うやさしい心が育っていることを嬉しく思います。

芋掘り遠足は4,5歳児が埼玉県川越市まで行ってきました。今年は芋掘り名人が多く、決められた範囲を掘りきると友達を手伝ったり、掘り手のいない範囲を率先して掘ってくれたりと大活躍でした。最後に掘り残しがないか大人が確認するまでもないほど、掘りつくした子どもたちです。掘ってきたサツマイモは1,2歳児も含め、給食でおいしくいただきます。晴天の下、自然に触れ収穫を楽しみ、秋を満喫することができました。今後は散歩や園庭でも秋を存分に楽しみたいと思います。

行事予定

乳児お楽しみ会
歯科検診
芋洗い会
ポニー教室
身体計測 避難訓練



異年齢の刺激

先月の運動会では、幼児クラスの子どもたち一人ひとりの輝く姿に心動かされましたが、乳児クラスの子どもたちもまた、日々練習を頑張る幼児クラスの友達を見て、たくさんの刺激を受けていました。

1歳児は園庭で踊る5歳児の迫力あるキッズソーランに魅了され、近くで見ながら思わず手を叩いて喜んだり、体を揺らして一緒になって楽しんでいました。また、2歳児は大縄跳びに興味津々で、自分で縄跳びを持ってきて保育士に渡し“ボクもやりたい”とやる気満々です。保育士が縄を蛇のように揺らすと、2人の子は嬉しそうに縄の上で跳びはねています。4歳児が運動会で挑戦した連続10回跳びのように、保育士が「1, 2, 3...」と数え「10」までいくと「やったー」と両手を挙げて、一緒に跳んだ友達と抱き合い喜びを分かち合うのでした。また、別の2歳児は、保育士が縄を蛇のように揺らすと表情が曇りました。もしかして同じように跳びたいのかと考え、保育士がゆっくり大縄を回すと、曇っていた表情から一変、目が光り、全身の力を振り絞ってジャンプをし、地面の縄を越えようとしています。そして何回目かのジャンプでようやく地面にある縄を越えられると満足そうに保育士に抱きつくのでした。その姿から“お兄ちゃん達と同じことができた”という自信と喜びが伝わってきました。年上の友達の格好良さに憧れ、同じようにやってみようと真似をしたり挑戦する姿を見守りながら、その楽しさ、嬉しさに共感していきたいと思います。



戸外遊びの様子 ～幼児クラス～



「気分はきりん組（5歳児）」

赤らいおん組（4歳児）

運動会の余韻を楽しむ子どもたちは、「大縄できたから、短縄もできるようになりたい」「ママはまだできないと思っているから、できるようになってびっくりさせたい」と短縄跳びを練習中です。「次の運動会これやろう」と言う子もいるので、何の曲でやりたいか尋ねると「ハピネス」と返事が返ってきました。今年のフープダンスで使用した曲を気に入っている様です。そこで保育士が曲を口ずさむと、「走りだせ」で走ろうよ」と子どもたちが決め、走り跳びが始まります。「みんな、ここに並んで」「じゃあ、私は前に並ぶね」と、まだ上手くは跳べませんが、気分はきりん組。今度は5歳児競技に使用した“ツバメ”の曲を口ずさみ、“メリーゴーランド”に挑戦しています。保育士が縄を持つと「先生立って」「こっちに回るよ」と運動会でのきりん組の姿を思い浮かべながら楽しみました。

運動会を終え次は友達とこんなことをやってみたい、これができるようになりたいとまた新しい目標を持って楽しむ姿に嬉しくなりました。



「自信がついて」

青らいおん組（4歳児）

運動会まで毎日自分たちの競技を頑張り楽しんできた子どもたちが、運動会を終えるときりん組のやっていた競技への興味が広がり“やってみたかった”という思いが溢れるように、短縄を手にとって跳んでみる姿があります。運動会前から興味を持って練習していた子は10回以上跳べるようになり、運動会後に始めた子も「1回跳べた。見ててね」と、喜びながら後ろ跳びや走り跳びにも挑戦しています。きりん組の子のマークが貼られた短縄を使える特別感もあり、憧れている子の短縄を使い、はりきっている子どもたちです。感覚が掴めてくると、友達に声を掛け「一緒に跳ぼう」「競争しよう」などと、刺激し合っている姿があります。運動会に向けて自分たちが取り組んできた大縄で、一人ひとりが“できるようになった”という自信をもっているからこそその姿だと感じています。



次への目標にどんどんと向かっていく子どもたちを応援していきたいです。



「みんなで走る楽しさ」

きりん組（5歳児）

最近、クラスみんなで“バナナ鬼ごっこ”を楽しむ子どもたちです。「なんでバナナ鬼ごっこをよくしているのかな」と尋ねてみると「面白いから。だってね、追いかかれるといつもよりもっと速く走れるんだよ」と教えてくれます。「そうなんだ。捕まえられないようにするから速くなるのかな」と答えると「でもね、追いかける方がもっともっと1番速くなるんだよ。」と1人の子が言うと、他の子もみんな「うんうん。すごく速くなる。」と口々に言っていました。

運動会のかけっこやリレーの取り組みで、相手に追いつこうとしたり追い抜かそうとする過程で自分がいつもより速く走っていることを実感し、友達の姿を見ることで感じてきたのでしょうか。競争するのは勝ち負けがあり悔しかったり、友達と足の速さを比べたりし複雑な思いも抱えたことがあったと思います。しかし、日々クラスの仲間と励まし合い頑張れたことで、より走る気持ちよさや楽しさを感じ鬼ごっこが盛り上がっているのではないかと感じています。

